

優しく強い子に！



幼児・1年生の練習

10月16日(土)のCクラスの練習を観ていました。どんどん技を修得していく姿、どの子も生き生きと展開する“即座の修得”。観ていて本当に楽しいです。じっくりと育ち、その成果を試合で発揮する、嬉しい光景を観るのが楽しみです。

b y 南の安版万



<http://www.minamih.net/>
21・10・17(日)
南NEWS no 70

「U-12 12 ブロックリーグ」

21-10-16(土) 会場：文化大グラウンド

○めあて

5つ観て判断してコーチング/浮き球の処理/逆足のキック/技を使う

○南八王子 2-0 日野八 前半 0-0

得点：コウヨウ君 (A ユヅキ君)、ユヅキ君

前半6分、左SH ショウマ君がカットインして(内側に斬り込んで)ミドルシュートを放つもGKにセーブされます。同13分にCKから左SB ヒロト君のシュートはGK正面。同14分、交代で入った左SH ヒデオ君が中にドリブルして右SH コウヨウ君、FW ユウゴ君と渡ってシュートも決まらず。同15分にCKをヒロト君がヘディングシュートしますが枠を外れました。

後半1分、LSBヒロト君からLSHヒデオ君へパス。ヒデオ君がワンタッチでCHユヅキ君へ。パスを受けたユヅキ君がターンして逆サイドのコウヨウ君にスルーパス。コウヨウ君がDFを振り切ってゴール。見事なコレクティブな展開のゴールでした。

同10分にユヅキ君のミドルシュートは正面でしたがGKがキャッチできず2点目。その後、押し込まれる時間もありましたがGK ダイスケ君のファインプレーで無失点に抑え試合終了。

○南八王子 0-1 日野八 前半 0-0 ※フレンドリーマッチ 15分ハーフ

前の試合で出場時間が短かった選手を中心に戦いました。惜しい場面もたくさんありました。

★試合を振り返って

学校行事やGK研修でカツヤ君、カイリ君、ハヤト君、ショウタ君がいない中の試合でした(ハヤト君は研修終了後に参加し、フレンドリーマッチのGKをつとめました)。

■良かったところ

前週のみドルシュートの練習が活かされて、シュートの意識がとても高かったです。また体を入れてボールを奪う意識がだんだん高くなってきました。

とくにすばらしかったのはトップに入ったユウゴ君。味方がボールを持ったときに高い位置(相手のゴールに近い位置)で、相手のDFのすき間(ギャップ)にポジションを取ってボールを呼び込むので、縦パスが何本も入りました。

ユウゴ君がしていたのは「深さを作る」というとても大切なプレーです。縦パスが入るとワンタッチで上がってくる味方を使ったり、自分でターンを狙っていました。これまでこのチームでは見られなかった攻撃でした。また、アキラ君がファーストタッチでスペースへボールを運ぶチャレンジをしていたのもとても良かったです。

■これから練習しなければならない課題

・浮き球

浮き球については1試合目の後に少し練習し、フレンドリーマッチで少し意識が高くなったかなと思いますが、やはり相手が蹴り込んで来たボールを跳ね返す、収めることができずにピンチになっていました。

・第一DF、チャレンジ&カバー

今日は攻める時間が長かった分、マークの意識は低めで、第一DFのアプローチもゆるかったので、ドリブル突破を何度も許してしまいました。カバーする選手の距離が遠く、チャレンジ&カバーができていませんでした。フレンドリーマッチの失点もCBをSBがカバーしていれば防げたはずでした。

・逆足のキック

左サイドからペナリティエリアに入っても左足でシュートできずチャンスを逃していました。

・ボールウォッチャー(とくにハーフの守備)

前半は点を取りたいあまりに、ハーフがなんとなく上がってしまい、トップも含めて4トップのような形になっていました。3バックとこの「4トップ」の間に大きなスペースができ、相手を自由にプレーさせた時間が何度もありました。後半、ある程度修正できましたが、全小予選の白百合と同じく相手は2-4-1のフォーメーションで、中盤で数的不利なのは変わりません。サイドハーフが中に絞って守備を助けていませんでした。またハーフのライン(第2線)を超えられたのに自分の責任と思わずスプリントで追わない、プレスバックしない場面も観られました。こうした場面はボールしか観ていない、そしてお互いにコーチングしないことも原因です。修正していきましょう！

・ボールを受ける位置

味方がボールを持ったときにもっと広く、角度を付けた位置を取りましょう。前がかりになっていたのに点がなかなか取れなかったのは多くのプレーが直線的で狭い中で縦に急いでいたからです。

次の相手は体もキックも強いチームです。どこまで修正して戦えるか楽しみです

b y 中村元コーチ



ミーティング 中村元コーチの指導

勝ちましたが、前半のシュート数は南が8・相手は0。後半は南が2・相手は5。点は取られませんでした。白百合戦を思い出してしまいました。

中村元コーチが示してくださった課題は南のどの子もがしっかりと受け止めて、解決の努力をしなければなりません。



b y 南の安版万

